

新 特 集 春

にいがた



市の人口 (11月末現在)

人 口	471,458人
男	229,157人
女	242,301人
世帯数	155,906世帯

発行日 毎週日曜日 発行所 新潟市役所 〒951 西堀通6-866

編集 企画部広報課 印刷 樹第一印刷所



明日に向かって スタート!

昨今、マラソンが非常に盛ん。孤独との闘いゆえに、なおさら自分との闘いが強いられる。苦しさを乗り越えゴールインしたとき、日ごろのたゆまない努力が報われる。新年を迎え、一人ひとりが明日に向かってスタートしよう。豊かで潤いのあるまちづくり目指して……。 (写真は昨年の第5回新潟マラソン大会から)

豊かで潤いのあるまちづくりを



市長 浅井 重喜

新年のごあいさつ

市民の皆さん、あけましておめでとうございます。新春を迎えるにあたり、皆さまのご健勝を心からお喜び申し上げます。

昨年一月、引き続き市政を担当することになり、身も心も引き締まる中で、二期目をスタートしてから、はやくも一年がたちました。この間、皆さんからご支援をいただき、これまで進めてきました大型プロジェクトのうち、新潟市産業振興センターと西総合スポーツセンター、サン・グリーンホールが完成し、そして市庁舎建設を着工するなど、一応の前進をみたところであります。

今年も、相変わらず厳しい経済状況の中での年明けではありますが、新しい年に向かって、私は、さらに都市基盤の整備・充実を図り、生きがいの根源となる健康、温かみのある福祉に、きめ細かな施策を講じながら、産業経済の活性化、教育・文化の向上、スポーツの振興を目指して、豊かで潤いのあるまちづくりに努力を傾けてまいります。

このことは、「二十一世紀に向けてのまちづくり」を着実に前進させていくために、昭和六十年に策定した第三次総合計画の実現を図り、「人と人との心のふれあい」を大切にしたい「市民生活優先の市政」を貫いていくことでもあります。

長い歴史の中で蓄積された自然や文化などの遺産を大切に、それをさらに大きく膨らませながら、活力に満ち、調和のとれた二十一世紀へと飛躍する新潟市を市民の皆さんとともに創造していくことはありませんか。

さて、今年五月には、「第九回アジア卓球選手権大会」が本市で開催される運びとなりました。アジアの国々からたくさんの人々が新潟市を訪れます。この大会を契機に、アジア諸国の人々に新潟市を理解してもらおうと、国際都市を目指す新潟市のイメージアップにつながるものと期待しております。また、身近な国際交流、市民外交を進める場にもなると思います。その意味でも私たち新潟市民にとって、今年は大変意義深い年であります。

市民の皆さんのご理解、ご協力をいただきながら、ぜひともこの大会を成功させたいと念願しております。年頭にあたり、市民の皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。ごあいさついたします。

昭和六十三年 元旦